

【登場人物】

主人公：サチコ、50代女性

子育てが終わり、自分の時間が少しずつ増えた主婦。

久々に実家に帰るが、母から「押入れの整理を手伝って」と頼まれ奮闘する。

母親：70代女性

長年暮らしてきた実家の押入れが物で溢れてしまい、手をつけられなくなっている。

店員：買取専門店スタッフ、親しみやすく丁寧な対応のプロフェッショナル

初心者の母娘に優しく接し、買取の敷居を下げる役割。

【ストーリー構成】

・母親から押入れ整理の連絡

サチコがスマホでLONEを確認するシーン。

母からのメッセージ：「今度の週末に押入れの整理を手伝って！」

サチコ：「押入れ？何が入ってるかわからないけど…まあいっか。」

週末になり実家に到着。母に迎えられる。

母：「よく来てくれたわ！さあ、押入れをお願い！」

サチコ：「まあ、手伝うけど…なんで私が？」

母：「いいから！いいから！」

・押入れ発掘タイム

押入れの扉を開けると、物がぎっしり。

サチコが古い箱を引っ張り出して眺める。

サチコ：「この指輪とかって金じゃない？もしかして結構いい値段したやつ？」

母：「そうよ！バブルの頃に頑張って買ったの。でももう使わないし…」

サチコが夫婦で使っていた古いカメラを見つける。

サチコ：「もう壊れてる！このカメラって結構使ってたんじゃない？」

母：「そうなの！でも今はスマホがあるから…」

サチコがスマホで検索しながら提案。

サチコ：「ねえ、こやし屋に持って行こうよ。こんなに古いのに、案外高く売れたりして！」

母：「そんなことあるの？ただのガラクタだと思ってたけど。」

サチコ：「やってみる価値あるでしょ！」

・こやし屋新潟粟山店 訪問

サチコと母が明るいこやし屋の前で一言。

母：「ここ、本当に私でも大丈夫かしら？」

サチコ：「ほら、女性も入ってるし安心して！」

店内に入ると、笑顔のスタッフが迎える。

店員：「いらっしゃいませ！査定は無料ですので、お気軽にどうぞ！」

母：「こういうの初めてだから、ちょっと緊張するわ。」

査定中、スタッフが説明しながら丁寧に物を見る。

店員：「こちらの金の指輪ですが、相場が高騰しているので高価買取が期待できます！」

母：「まあ、そんなことがあるのね！」

サチコが横から冗談を言う。

サチコ：「ほら、お母さん。これで昭和の遺産が平成、令和に役立つってわけよ！」

母：「遺産とか言わないの！（笑）」

店員：「こちらのカメラは壊れていますが、買い取り可能です！」

母：「壊れてるのに買い取るの!？」

サチコ：「ガラクタだと思った物でも買い取ってくれるのね。」

店員：「壊れている物もそうですが、汚れて状態が悪い物や古い物も買い取りいたします！」

母とサチコは感心した様子で話を聞いている。

・査定結果とスッキリ感

店員：「本日お持ちいただいたお品物ですが、買取金額〇〇〇〇〇円となります！」

査定額を見て母が驚くシーン。

母：「えっ!？これでこんなに!？ガラクタかと思ってたのに！」

サチコ：「すごい!こんなに高いとは思わなかった！」

店員：「金の指輪は相場が高騰しているのはもちろんですが、状態がすごくきれいでしたので！」

店員：「カメラは、壊れてるけど昔から人気のモデルなので、コレクターの方が欲しがります！」

帰宅後、片付いた押入れを眺める二人。

母：「押入れがスッキリしたわ!これで他の物も整理できそう！」

お茶を飲みながら、サチコが笑顔で一言。

サチコ：「また何か出てきたら呼んでね。押入れはまだまだ深そうだし。」

母：「本当にタイムカプセルみたいよね。こやし屋に行って良かったわ！」

